

2015. 6. 3

名古屋市長 河村たかし様

相生山の四季を歩く会 事務局 田中眞理
ラブリーアース J a p a n 事務局 古川善嗣
名古屋市南区豊 4-22-10 tell/fax : 052-821-6463
ホームページ <http://lovelyearth.info/>

世界の「AIOIYAMA」プロジェクト検討会議への提案書

- I 「名古屋のまちに、自然を大事にしようという精神でいこう（昨年末市長記者会見）」が根本であり、わたしたち市民はこの姿勢を支持しています。
決してぶれることなく、検討が進められるよう希望します。
- II このプロジェクトは市民と名古屋市の協働によって初めて達成できるものです。
相生山の道路問題がこれまで払ってきた多くの労苦は、「実情よりも計画優先」の硬直した姿勢によるものであったのではないのでしょうか。
互いを尊重し、経験を交流し、知恵を出し合い、柔軟に、対立ではなく力を合わせることを願います。そのための機会設定や会議の設立を提案します。
- III 具体的には「相生山の魅力は何か」「相生山の価値は何か」をあらためて評価し、幅広い合意を得ていくことから始める必要があると考えます。
議論だけでなく現地に足を運び、生態系についての専門家などによる「案内」も得て体感、理解していくことを最優先させてはいかがでしょうか。
- IV 道路建設という時代に逆行した都市計画に後戻りすることなく、時間をかけてでも、市民にとってより有益な都市計画公園の構想を獲得することこそが、世界に誇る名古屋市の財産になるものと確信します。

相生山緑地の象徴種ヒメボタルに、今年も自然とのふれあいを求める市民が毎夜百人以上も週末には千人に至るにぎわいを見せました。最盛期の2週間、たくさんの人々を案内しながら、相生山の将来についての意見交換もできました。

河村市長の英断を評価する声は圧倒的であると同時に、「世界の AIOIYAMA」を掲げる公園構想が、今ある貴重な自然を壊すことにならないかという懸念も多く聞かれました。

廃止宣言以降、わたしたちのもとに届いた意見、話し合った現段階のまとめを上記提案の形で提出いたします。

また補足するものとして、昨年6月17日提出の提案書を添付します。再読ください。
ご検討をよろしく願います。

以上